

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

高齢者糖尿病の血糖管理における薬物療法の経年的変化：各種提言や専門性による影響の検討

2. 研究の対象患者

旭中央病院外来において、糖尿病治療薬を処方され、継続加療されている糖尿病患者さん

3. 研究の対象期間

2006年1月1日～2020年12月31日

4. 研究の概要

近年著しく増加している高齢糖尿病患者に対して、低血糖回避を重視し病態に応じた血糖レベルで管理することが推奨されており、2016年5月には具体的なHbA1cの管理目標値が提唱された。当院は約100万人の診療人口圏を有し、約4500名の糖尿病患者が通院しているが、糖尿病専門医(以下、専門医)は常勤2名、非常勤2名と少なく、一般内科医(以下、非専門医)と協力して診療にあたっている。これまで我々は当院の専門医/非専門医による高齢者血糖管理状況について比較検討し、患者年齢別HbA1cの経時的な緩徐化の傾向が専門性によって異なることを示した。今回は、その差をもたらす要因として、新旧の糖尿病治療薬の処方状況の違い、さらにその差異の背景としてガイドラインや学会recommendationなどの各種提言が、それぞれの医師群の処方状況にどのような経時的影響をもたらしているかを検討する。

5. 研究実施予定期間

2018年11月21日～2021年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目、入退院日、手術名・手術日、診断名

血液学的検査：RBC、Hb、WBC、Neu(%)、Lym(%)

血液生化学的検査：BS、HbA1c、LDL、HDL、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、BUN、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca、抗GAD抗体
糖尿病薬の処方内容(薬剤種、薬剤名、用法、用量等)

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：糖尿病代謝内科 小林 一貴

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)